

●●日本におけるドイツ2005／2006記念郵便切手●●

「日本におけるドイツ2005／2006記念」にちなみ、平成17年12月1日に80円郵便切手を6種類発売します。

◀日本におけるドイツ2005／2006 ～日本とドイツ交流の年！～▶

2005年から2006年にかけて開催される「日本におけるドイツ2005／2006」は、150年近くにわたり、両国間で培われてきた信頼と友好をさらに深めて行くことを目的としています。

「文化・経済・科学」各分野において多くの行事が日本全国で開催されています。

◀世界に誇る音楽家(①ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーベン)▶

ベートーベン(1770～1827年)はドイツで生まれた音楽家です。特に「交響曲第9番」は世界中で親しまれ、第4楽章「歓喜の歌」は年末の日本において各地で演奏されています。デザインに使用した肖像画は、「荘厳ミサ曲を作曲するベートーベン」(1820年)で、生家である「ベートーベンハウス・ボン」に所蔵されています。

◀世界最初のガソリン自動車(②ベンツ・パテント・モーターワーゲン)▶

1886年にゴットフリート・ダイムラーとカール・ベンツによって発明された世界最初のガソリン自動車です。発明者の一人カール・ベンツがハンドルを握っています。

◀日本とドイツを結ぶ陶磁器 ～マイセン磁器～▶

ドイツ東部ザクセン州の「国立マイセン磁器製作所」で造られた磁器製品。17、18世紀ヨーロッパで流行した中国の「景德鎮」や日本の「伊万里焼」に倣って造られました。今では、ヨーロッパ最古の名窯、高級磁器として世界中に高く評価されており、日本にもたくさん輸入されています。切手デザインの作品はいずれも、ドイツの国立マイセン磁器製作所美術館に所蔵されています。

●③④楽器を奏でる日本人の人形

18世紀中頃の異国趣味の極みとも言える作品。

●⑤サーカスの馬上の女性像

現代のマイセン屈指のアーティスト、ペーター・シュトラングの作品(1990年)。

●⑥アルルカンの人形

18世紀のヨーロッパにおいて一世風靡した「イタリア喜劇」をテーマにした作品。

アルルカンとは、イタリア喜劇の道化役のごとで、色とりどりの衣装をつけています。

◀シート余白には、ノイシュヴァンシュタイン城▶

南ドイツの古都フッセンの近くにたたずむノイシュヴァンシュタイン城は、観光名所として人気が高く、19世紀後半にバイエルン国王ルートヴィヒ2世によって17年の年月をかけて造られました。様々な建築様式を混合して建てられたこの城は、国王が心酔したワーグナーの楽劇を主題とした壁画など華麗な飾りが施されています。

●●●「日本におけるドイツ2005／2006記念」にちなむ●●●

特殊通信日付印

(A)手押し用



使用局 (A) 定例局
(B) 札幌、仙台、横浜、東京、長野、名古屋、大阪、岡山、福岡の各中央郵便局

(B)記念押印機用



使用日 (A) 平成17年12月1日(木)から同年12月7日(水)
(B) 平成17年12月1日(木)のみ
意匠 (A) 日本におけるドイツ2005/2006公式キャラクター
(B) ベンツ・パテント・モーターワーゲン

日本におけるドイツ2005／2006記念切手



2005/2006 Deutschland in Japan

郵便局
POST OFFICE

①



日本におけるドイツ2005/2006 平成17年・2005

②



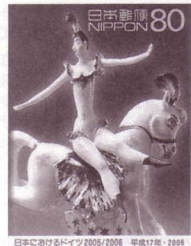
日本におけるドイツ2005/2006 平成17年・2005

④



日本におけるドイツ2005/2006 平成17年・2005

⑤



日本におけるドイツ2005/2006 平成17年・2005

③



日本におけるドイツ2005/2006 平成17年・2005

⑥



日本におけるドイツ2005/2006 平成17年・2005

種類 80円郵便切手
発行日 平成17(2005)年12月1日(木)
意匠 ①ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーベン
②ベンツ・パテント・モーターワーゲン
③④マイセン磁器(楽器を奏でる日本人の人形)
⑤マイセン磁器(サーカスの馬上の女性像)
⑥マイセン磁器(アルルカンの人形)

印面寸法 ①縦35.5mm・横25.0mm
②～⑥縦35.5mm・横28.05mm
小切れ寸法 縦38.5mm・横28.05mm
シート寸法 縦222.5mm・横140.25mm
版式刷色 グラビア6色
写真撮影 ③～⑥田中 学而(写真家)
デザイン 森田 基治(切手デザイナー)